

# ガイドブックCD-5

---

## 工事説明書

初 版  
昭和62年4月

**Nitsuko**

**日通工株式会社**

〒213 川崎市高津区北見方260 電話(044)811-1111(大代)

## 目 次

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 1. 概 要 .....              | 1  |
| 2. 構 成 .....              | 1  |
| 3. 動作範囲 .....             | 1  |
| 4. 外形寸法, 重量 .....         | 2  |
| 5. 設置場所 .....             | 2  |
| 6. 設置及び工事 .....           | 3  |
| 7. 選択項目の設定 .....          | 20 |
| 8. 選択項目の説明 .....          | 21 |
| 9. ダイヤル番号の記憶方法・確認方法 ..... | 24 |
| 10. IDコードの記憶方法・確認方法 ..... | 25 |
| 11. 点 検 .....             | 28 |
| 12. 電池の交換 .....           | 31 |

### 付図-1 システム構成図

- 2 ガイドホンCD-5主装置端子図
- 3 ガイドホンCD-5-ADP増設装置外観構造図
- 4 ガイドホンCD-5主装置外観図
- 5 ガイドホンCD-5屋内電話機外観構造図
- 6 ガイドホンCD-5屋外電話機外観構造図
- 7 ガイドホン表示器外観構造図
- 8 ガイドホンCD-4屋外電話機外観構造図

## 1. 概要

ガイドホンCD-5は、一般加入電話回線を利用し、屋外電話機のボタン操作により、あらかじめ記憶してある連絡先へ自動的にダイヤルし通話を行なう装置です。

屋外電話機扱い者に対しては、音声合成音により操作の案内を行います。

連絡先は、主装置に設けた切替スイッチ、屋内電話機の切替スイッチの操作、又は主装置の端子に外部タイマー接点を接続することにより、昼間用（Aグループ）2宛先、夜間用（Bグループ）2宛先を指定することができます。また、屋外電話機と屋内電話機の相互通話（インターホン機能）を行うことも可能です。

連絡先へは、通話に先立ち、機器の設置場所を知らせるIDコード番号（こちらは〇〇です）を伝えます。

## 2. 構成

本システムの構成は第1表の通りです。

第 1 表

| 品 名                   | 数 量 | 記 事        |
|-----------------------|-----|------------|
| ガイドホン CD-5 主装置        | 1   |            |
| ガイドホン CD-5 屋外電話機      | 1～8 | (注1)       |
| ガイドホン CD-5 屋内電話機      | 2   |            |
| ガイドホン 増設装置 (CD-5-ADP) | 2   | 屋外電話機4台接続用 |
| ガイドホン 表示器             | 1   | (注2)       |

(注1) 初実装で屋外電話機は最大2台迄。増設装置付加時最大8台迄接続可。

また、本システムには、コンパクトタイプ（CD-4屋外電話機）も接続可。

(注2) 表示器を接続する場合は、屋外電話機が2台以下でも、増設装置が必要。

## 3. 動作範囲

### 3.1 電源電圧、消費電力

本装置の入力電源電圧はAC 100V ± 10V（50Hz 又は 60Hz）です。

また、消費電力は第2表の通りです。

第 2 表

| 品 名          | 消 費 電 力 |       |
|--------------|---------|-------|
|              | 待 機 時   | 動 作 時 |
| ガイドホンCD-5主装置 | 5VA     | 10VA  |

### 3.2 局線線路抵抗

(1) A形及びH形

: 1000Ω以下

- (2) C<sub>1</sub>形及びC<sub>2</sub>形 : 1200 Ω以下  
 (3) クロスバ形 (C<sub>1</sub>及びC<sub>2</sub>形を除く) 及びD形 (電子交換機) : 1700 Ω以下

### 3.3 内線線路抵抗

- (1) 各電話機と主装置間の1線当りの線路抵抗は20Ω以下。

注：増設装置を接続した場合も、屋外電話機と主装置間の線路抵抗値が許容範囲で、1線当り20Ω以下です。

参 考  
 使用ヒューズ

|          |                        |
|----------|------------------------|
| AC 100V用 | MF 51 NN 250 V 0.315 A |
| 電 池 用    | MF 51 NN 250 V 0.315 A |

## 4. 外形寸法・重量

本装置の外形寸法及び重量は第3表の通りです。

第 3 表

| 品 名                        | 外形寸法 (mm) |     |     | 重 量<br>(kg) |
|----------------------------|-----------|-----|-----|-------------|
|                            | 幅         | 奥 行 | 高 さ |             |
| ガイドホン CD-5 主 装 置           | 234       | 74  | 246 | 4.5         |
| ガイドホン CD-5 屋外電話機           | 90        | 69  | 220 | 0.6         |
| ガイドホン CD-5 屋内電話機           | 90        | 69  | 220 | 0.6         |
| ガイドホン CD-5 ADP 増設装置        | 155       | 73  | 243 | 2.0         |
| ガイドホン 表 示 器                | 80        | 42  | 195 | 0.7         |
| ガイドホン CD-4 屋外電話機(コンパクトタイプ) | 72        | 78  | 223 | 0.5         |

## 5. 設置場所

下記の点を考慮し設置場所を決定して下さい。

- (1) 保守点検作業に支障がなく、かつ他の物件との間隔が十分確保できる場所であること。
- (2) 専用のAC 100Vコンセントが近くにあり、かつ24時間中電源が供給されること。
- (3) 次のような場所への設置は避けて下さい。
  - ① 直射日光、暖房設備等で高温、高湿の場所。
  - ② 著るしく温度の低下する場所。
  - ③ 振動、衝撃のある場所。
  - ④ 冠水、薬品類のかかる恐れのある場所。
  - ⑤ 通行、物の出入れ等に支障のある場所。
  - ⑥ 溶接機、高周波ミシン等ノイズを発生する場所。

## 6. 設置及び工事

### 6.1 構成図

本システムの構成図は付図-1に示す。

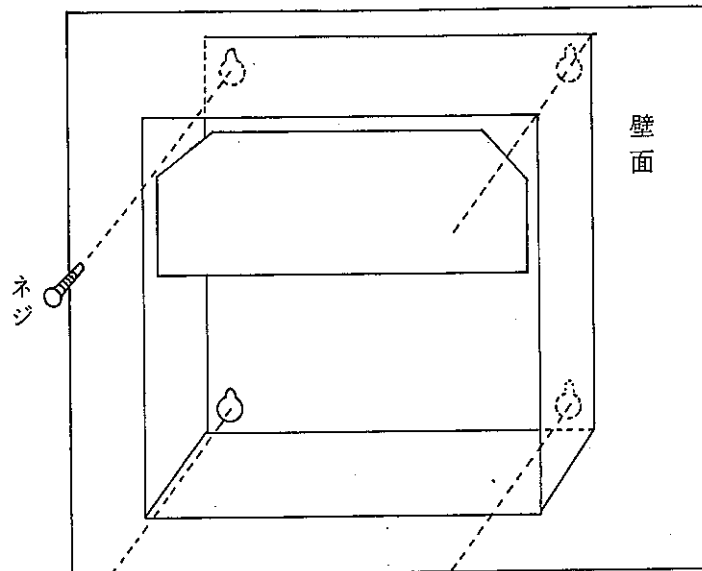
### 6.2 設置方法

主装置及び電話機の設置は、5項「設置場所」を考慮して設置を行なって下さい。また地震があっても、落下しないよう確実に固定して下さい。

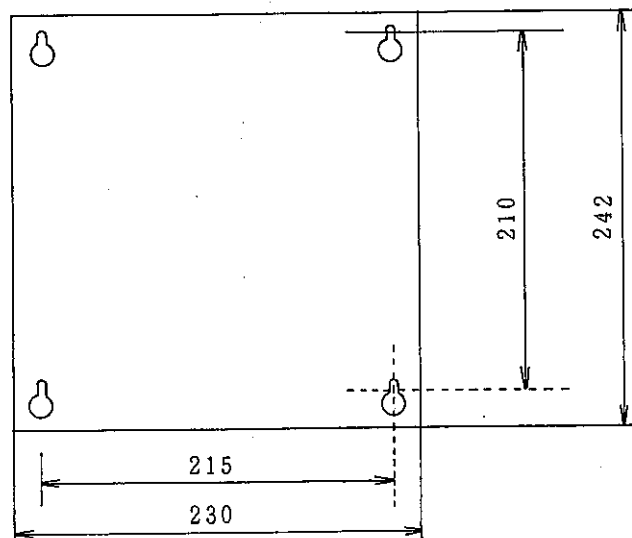
#### (1) 主装置設置方法

主装置は第1図の如く壁面に設置して下さい。但し、ユニットを上から差し込む構造のため、主装置上部を30cm以上、左右を30cm以上空けて下さい。

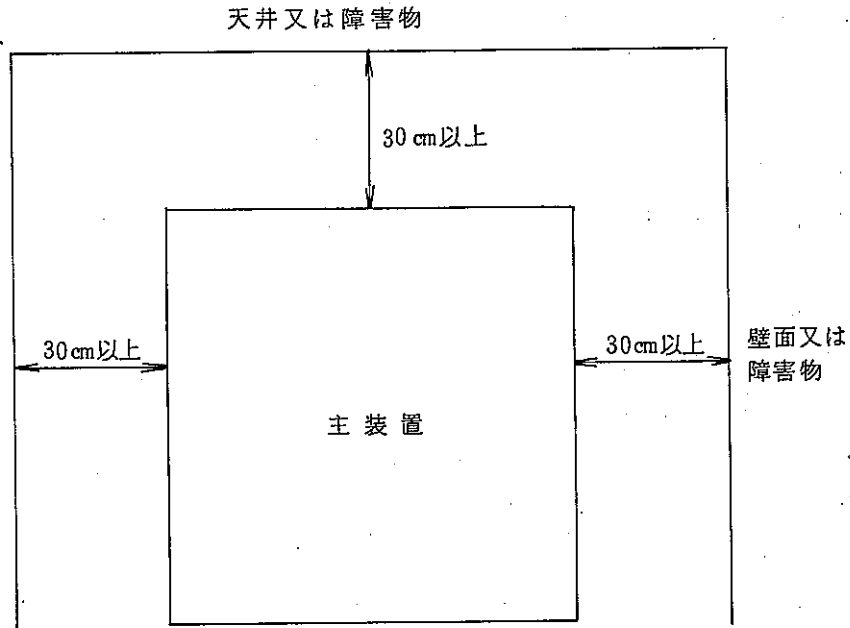
- ① 主装置左右両側面にある固定ネジをゆるめ、カバーを上にはずらしてはまず。
- ② 壁掛工事用シートを壁面に貼付け、取付位置を定め、添付の木ネジを取付ける。
- ③ 木ネジ取付後、シートを取除き主装置本体を掛け、ネジを締めつけ固定する。
- ④ カバーをかけ左右両側のネジを締付ける。



第1図 主装置



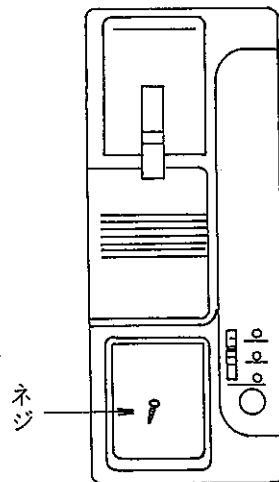
第2図 主装置取付穴ピッチ



第 3 図

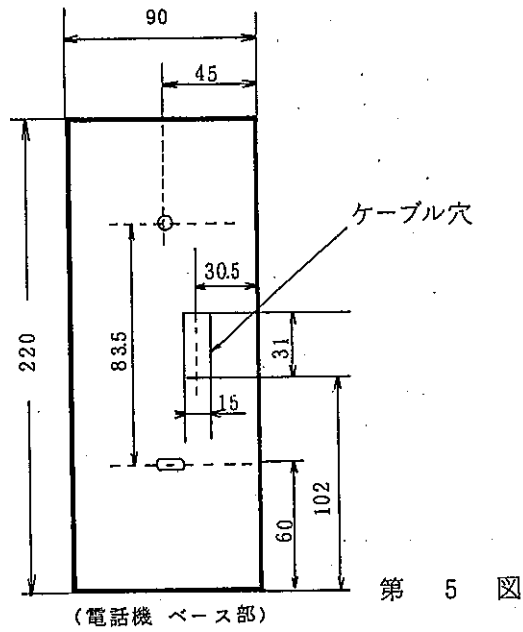
(2) - 1 電話機の設置方法 屋外・屋内用標準タイプの場合  
壁面設置の場合

- ① 電話機本体送話口部のネジ1ヶ所をはずす。
- ② 電話機の後側が引っ掛け固定されているので、手前側を持上げるようにしてハウジングをはずす。



第 4 図

- ③ 電話機のベースを添付の木ネジで壁に取付ける。
- ④ ハウジングをかぶせて止める。

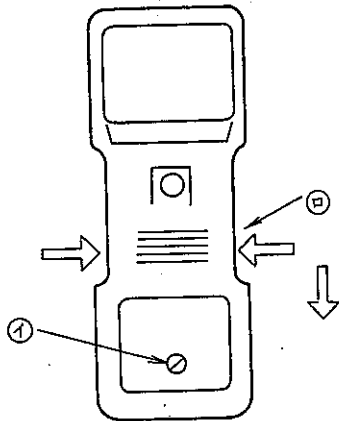


第 5 図

(電話機 ベース部)

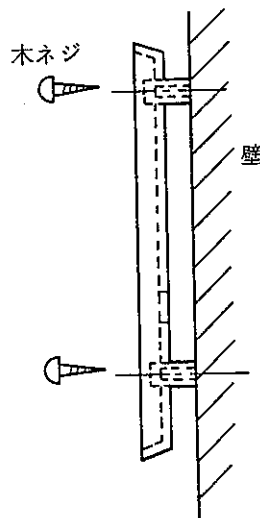
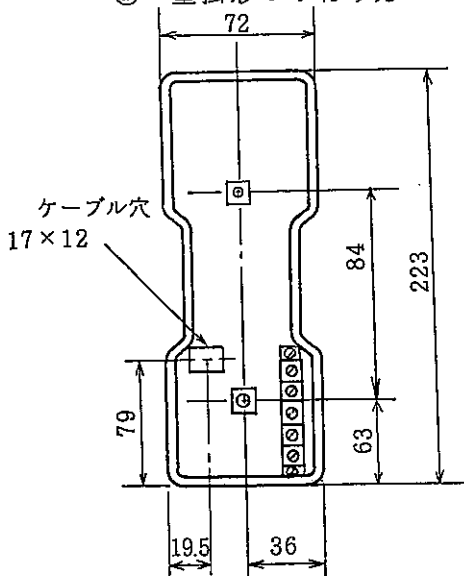
(2)-2 電話機の設置方法 屋外用コンパクトタイプの場合

① 電話機ハウジングの外し方



- ① 送話口部のネジを外します。
- ② スピーカ部の両側を指で内側に押しながら下に引いて外します。

② 壁掛形の取付け方



- ① 取付穴 2ヶ所をマーキングします。
- ② 添付の木ネジで電話機底板を固定します。(壁面がベニヤ板, 石膏ボード等への取付けは補強をして下さい。)  
(電話機重量 0.5 kg)
- ③ 配線ケーブルをケーブル穴から引き込み内部の端子板へ接続します。  
(不要となる電話機コードははずして下さい。)

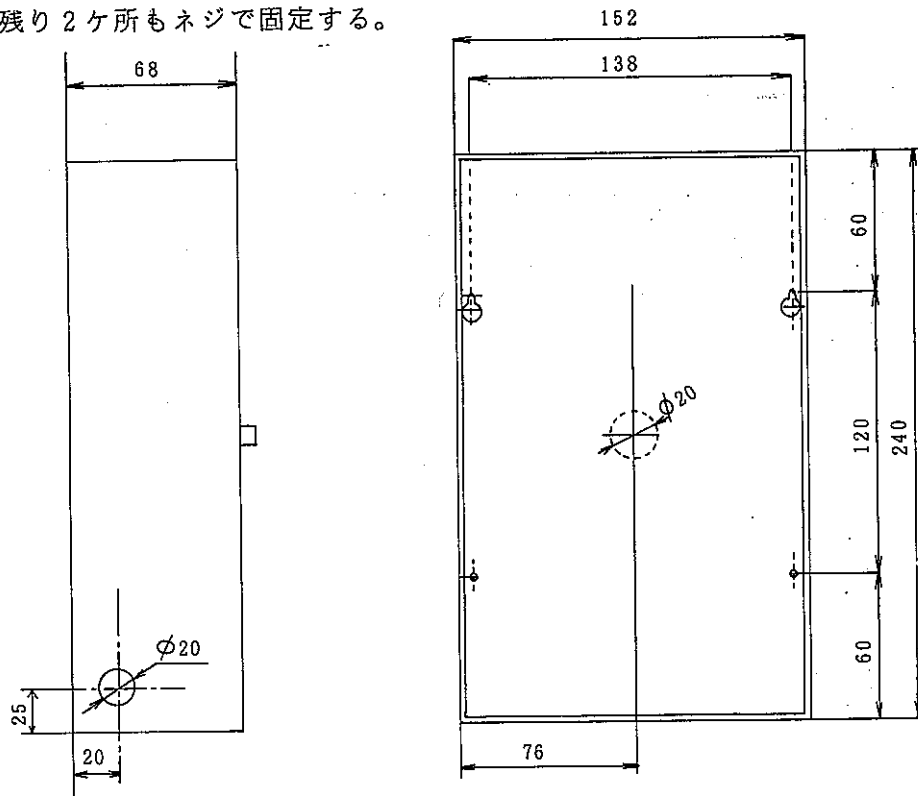
注 1 : 取付穴は配管用プレートの穴寸法に合わせてあります。

注 2 : 取付高さは床面より 1.2~1.5 m の位置が最適です。

(3) ガイドホン増設装置の設置方法

増設装置は壁面に設置して下さい。

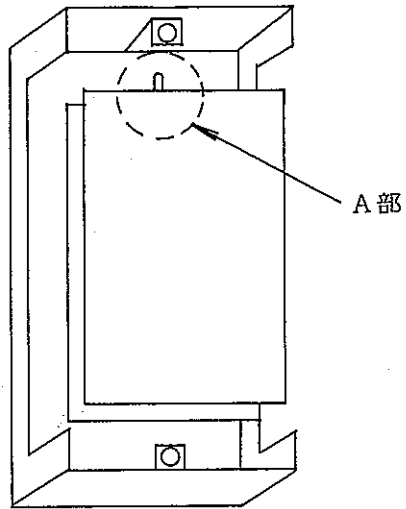
- ① 増設装置前面にある取付ネジをはずす。
- ② 前面カバーを上へ少しずらし、カバーを手前に引いてははずす。CN3コネクタによりカバー側のユニットとベース側のユニットが接続されているため、CN3コネクタを手前に引いてははずす。付図-3参照。
- ③ ベース側本体を壁面にあて、取付穴の位置をマークする。
- ④ 取付穴4ヶ所のうち上側2ヶ所、ネジをネジ込む。
- ⑤ ④で取付けたネジに増設装置を引っ掛けネジで固定する。
- ⑥ 残り2ヶ所もネジで固定する。



第 6 図

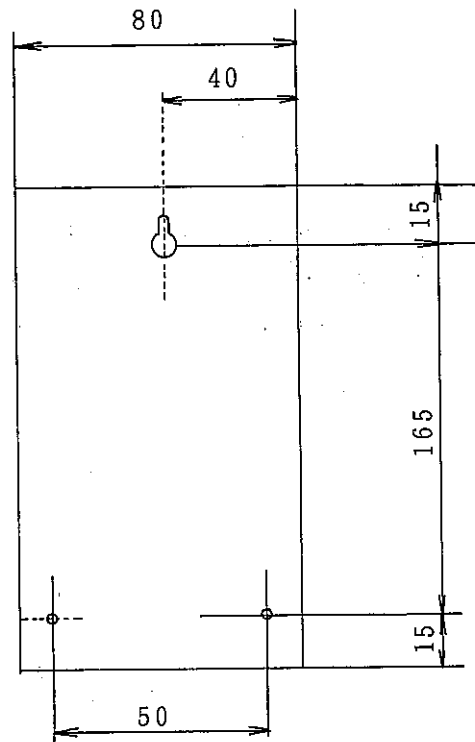
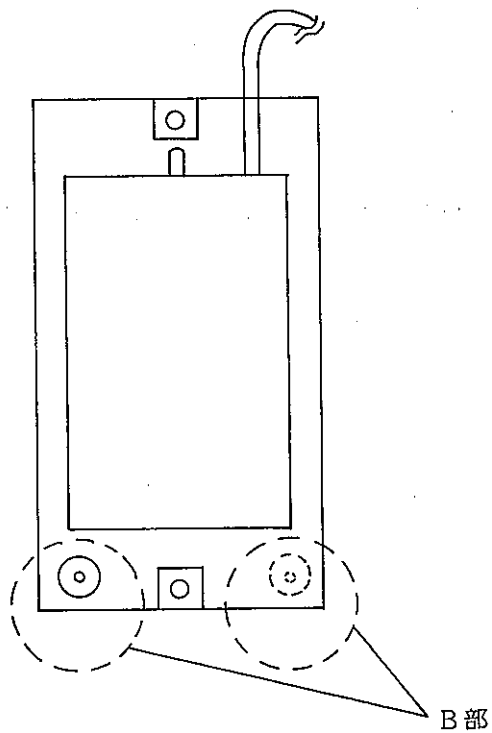
(4) ガイドホン表示器の設置方法

- ① 表示器前面のネジ2ヶ所をはずし、前面カバーをはずす。
- ② A部の取付穴の位置をマークする。



第 7 図

- ③ マーキングした位置にネジ頭が下から5mm位出る所までネジ込む。
- ④ 本体をネジに引っ掛け固定する。
- ⑤ 第8図のB部をネジで2ヶ所固定する。



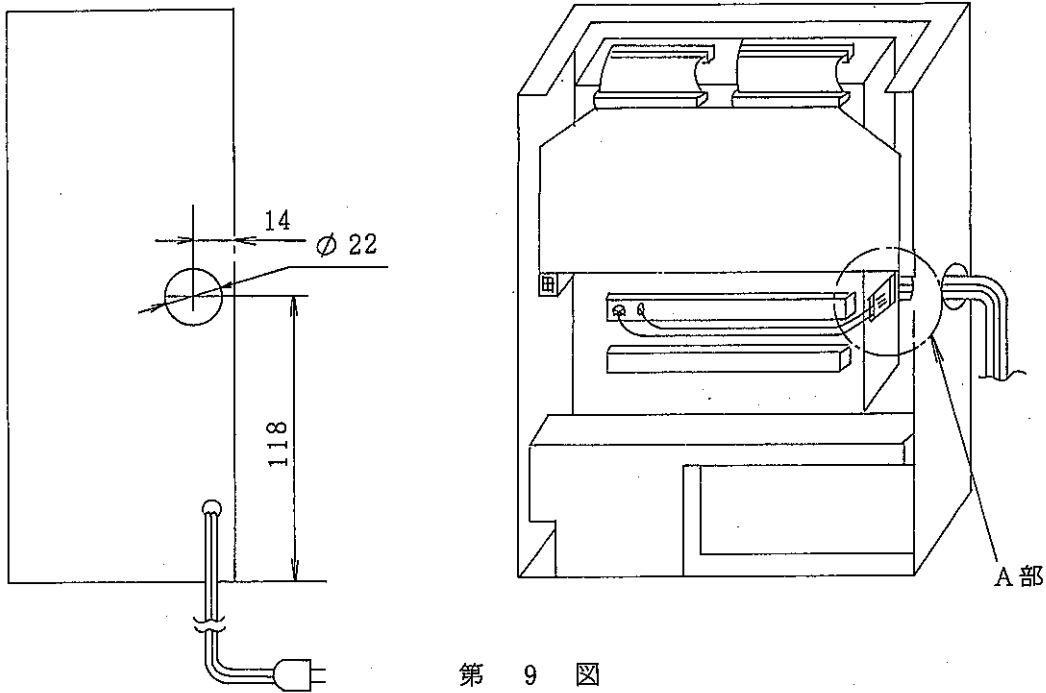
第 8 図

### 6.3 配線ケーブルの取り出し方

#### (1) 主装置

##### (1.1) 主装置右側面よりケーブルを取り出す場合

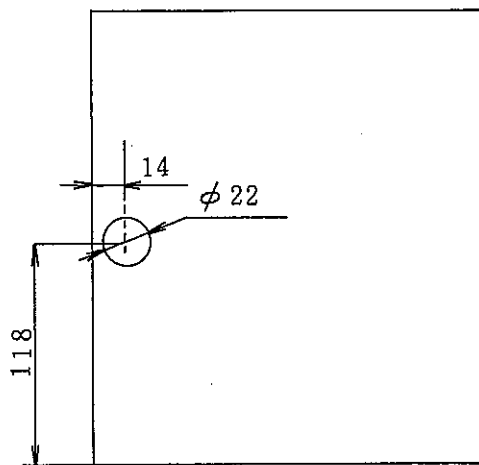
第9図の如く、右側面の穴よりケーブルを通し、A部の布線止めでケーブルが抜け落ないように固定して下さい。



第 9 図

##### (1.2) 主装置裏側よりケーブルを取り出す場合

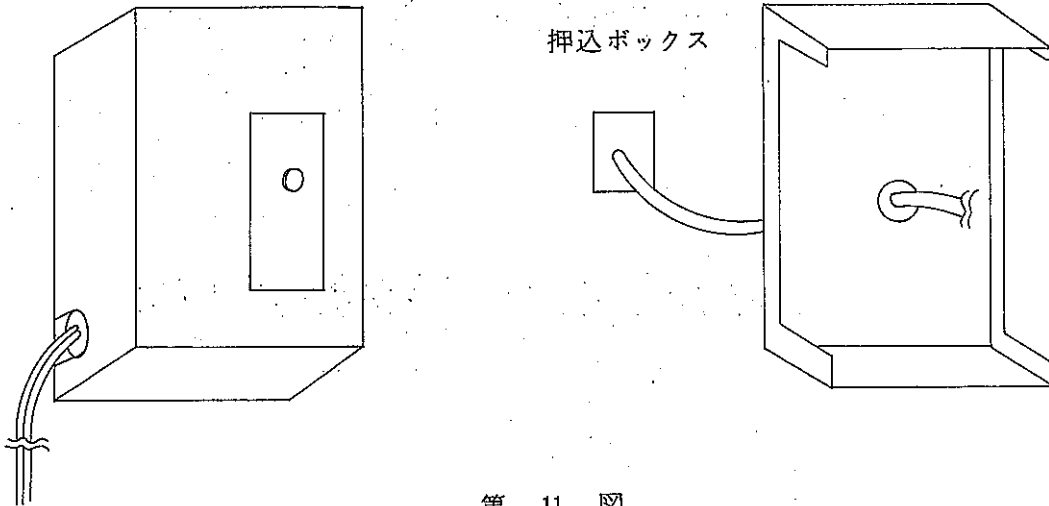
主装置裏側よりケーブルを取り出す場合は、裏側の穴よりケーブルを通し、第9図A部の如く、布線止めでケーブルを固定して下さい。



第10図 主装置裏側

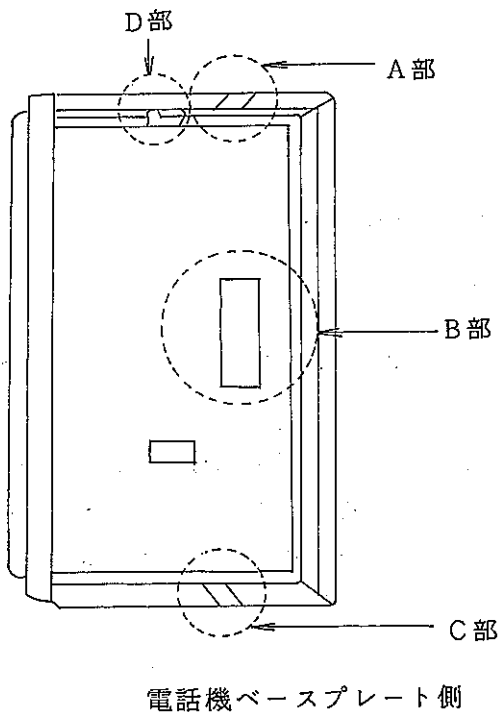
(2) ガイドホン増設装置

ケーブルは第11図の如く増設装置の左側面又は、裏面のケーブル取出し穴より取り出して下さい。但し、裏面よりケーブルを取出す場合は、増設装置ベース側にある基板を取りはずし（ネジで4ヶ所固定）してから、第11図の如くケーブルを取り出して下さい。



第 11 図

(3) 電話機



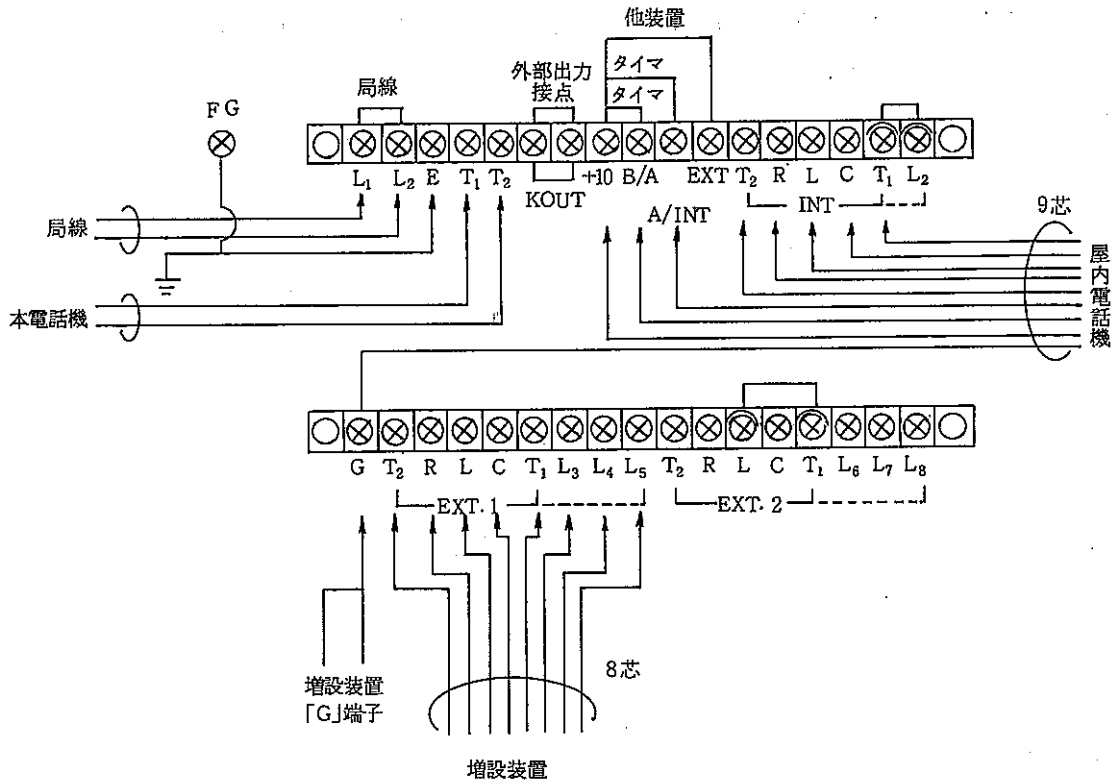
配線ケーブルは、A部、B部、又はC部の切り込み箇所をニッパ等で切り込み、ケーブルを取り出す。又、ケーブル止めは、D部にあり、添付の布線止めで固定して下さい。

○端子板名称

| 屋外             |   | 屋内             |   |
|----------------|---|----------------|---|
| R              | ⊗ | L              | ⊗ |
| V              | ⊗ | T <sub>1</sub> | ⊗ |
| A              | ⊗ | R              | ⊗ |
| L              | ⊗ | T <sub>2</sub> | ⊗ |
| T <sub>1</sub> | ⊗ | V              | ⊗ |
| T <sub>2</sub> | ⊗ | A/INT          | ⊗ |
|                | ⊗ | G              | ⊗ |
|                | ⊗ | B/A            | ⊗ |
| C              | ⊗ | C              | ⊗ |

- ハウジングを外し正面から見た図です。
- 記入なき端子は空き端子です。

6.4 結線工事



第 12 図

(1) 局線の接続

局線は第12図の如く、主装置CD5-MBUユニット上の左端のネジ止め端子L<sub>1</sub>, L<sub>2</sub>に接続して下さい。

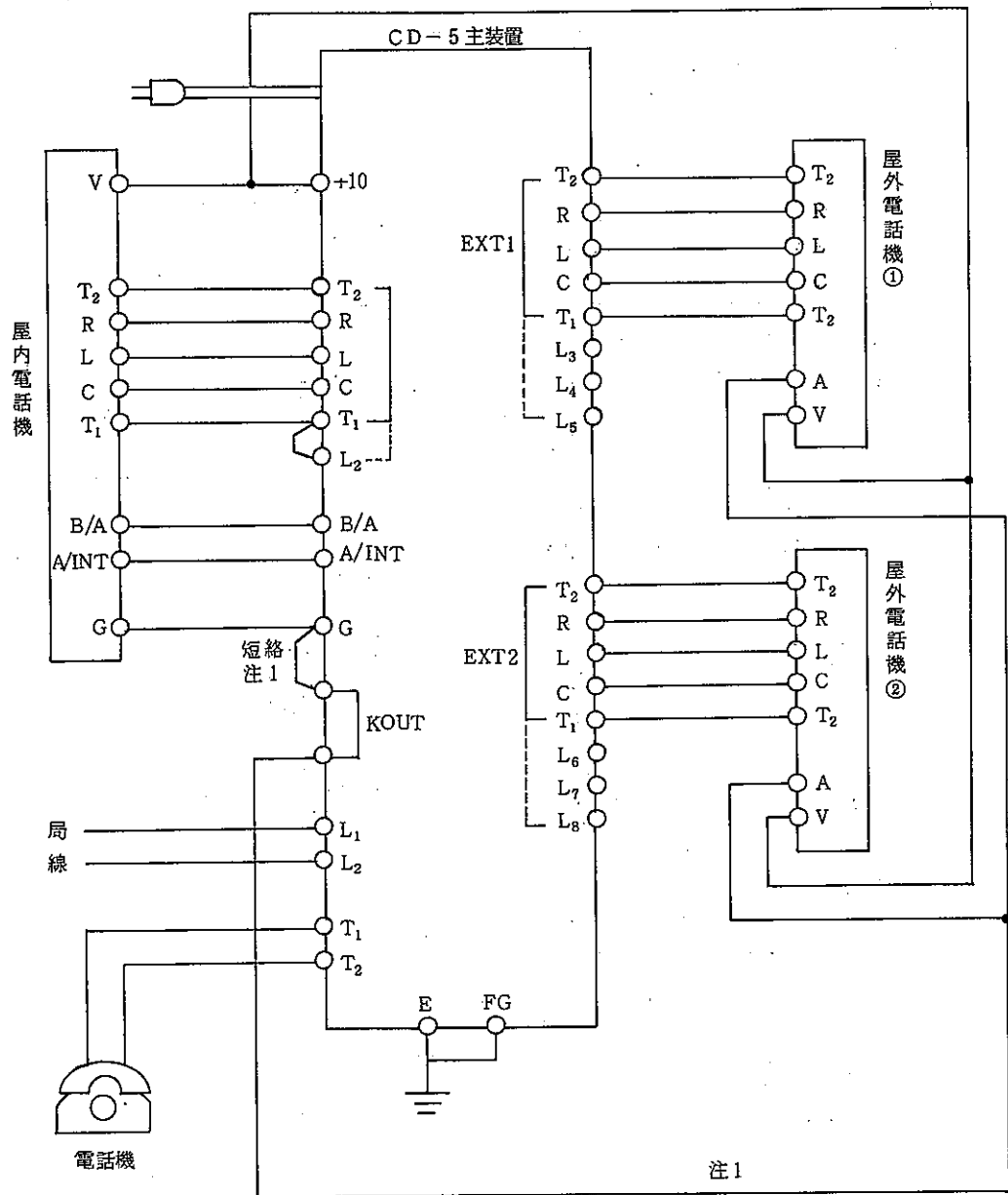
(2) 本電話機の接続

本電話機は第12図の如く、主装置CD5-MBU上のネジ止め端子T<sub>1</sub>, T<sub>2</sub>に接続して下さい。

(3) 電話機の接続 屋外・屋内用標準タイプの場合

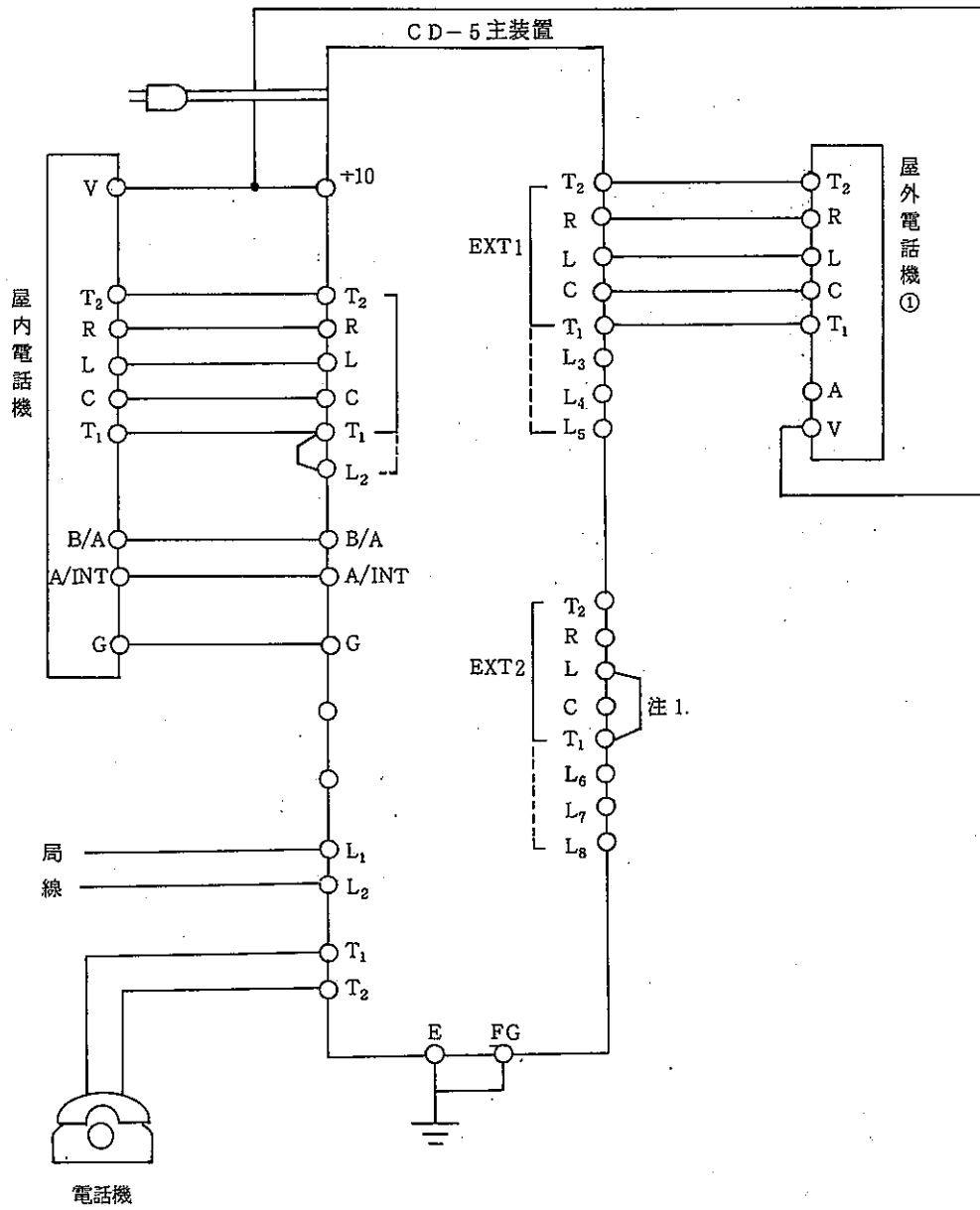
屋外、屋内電話機とも機紐は用意されていないので配線ケーブルで電話機、主装置間を接続して下さい。増設装置を使用しない場合は屋外電話機はEXT 1又は2, 屋内電話機は、INT端子に接続して下さい。屋外電話機が3台以上の場合は、増設装置のネジ止め端子に屋外電話機を接続して下さい。

(3.1) 屋外電話機2台，屋内電話機1台の場合  
 電話機の接続は下図の如く行なって下さい。



注1. 上図の様な配線を行なった場合には，屋外電話機の「使用中」ランプ表示が可能となりますが，「KOUT」を外部出力接点として使用不可となります。従って，「使用中」ランプ表示機能が無くても良い場合は，「G-KOUT」の短絡と「KOUT-A」の配線を行なわなくても結構です。前記配線を行なわなければ「KOUT」は，外部出力接点として使用可となります。

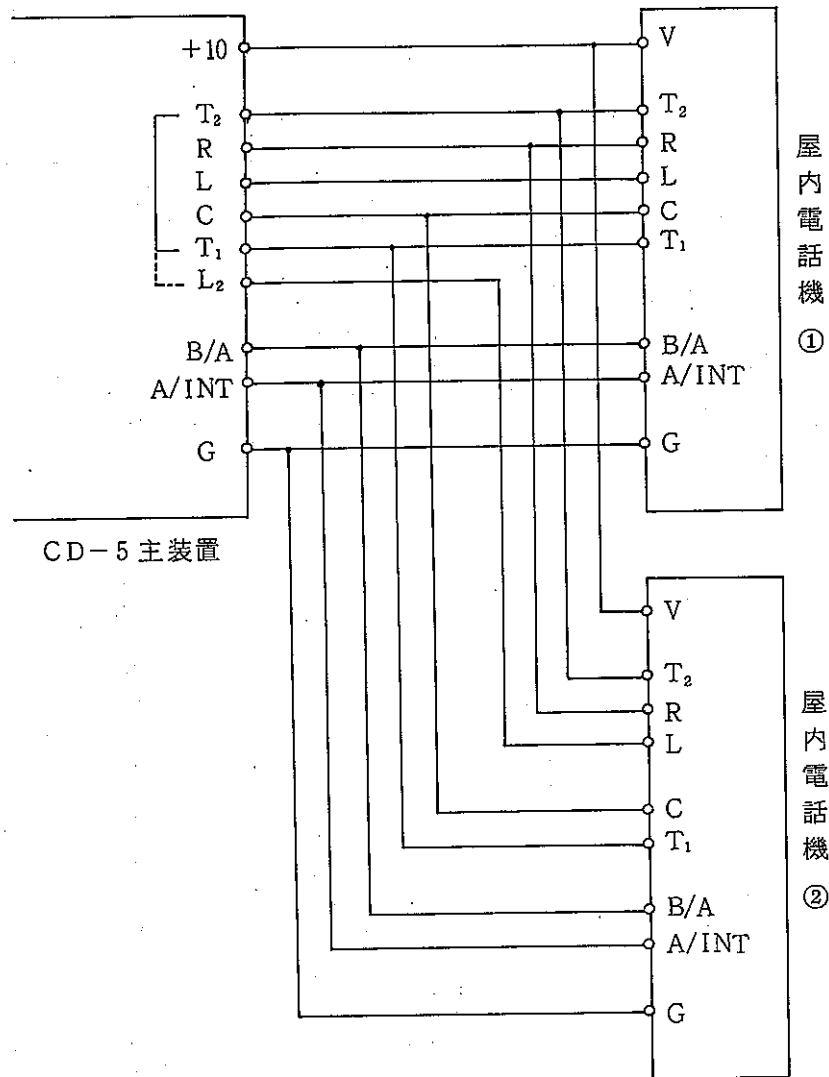
(3.2) 屋外電話機1台、屋内電話機1台の場合



注1. 接続しない屋外電話機端子がある場合、「L-T<sub>1</sub>」間を短絡して下さい。上図はEXT2に屋外電話機を接続されない場合を示していますが、EXT1に屋外電話機を接続しない場合も同様にEXT1の「L-T<sub>1</sub>」間を短絡して下さい。

(3.3) 屋内電話機 2 台の場合

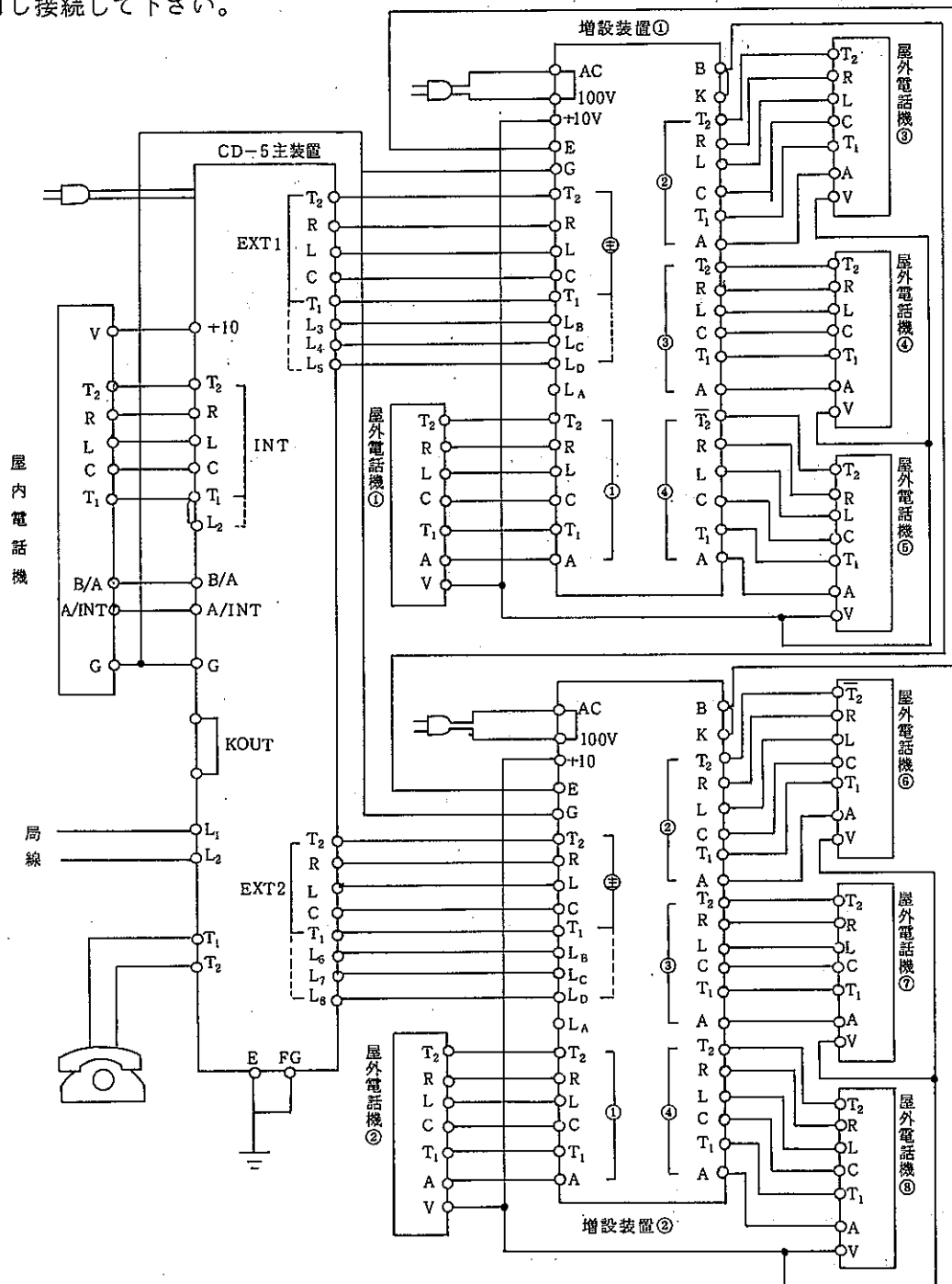
屋内電話機を 2 台使用する場合、下図の如く主装置「INT」端子の「T<sub>2</sub>, R, C, T<sub>1</sub>」及び「A / INT, B / A, +10, G」端子は共通に使用し、2 台目の屋内電話機の「L」端子は主装置の「INT」端子の「L<sub>2</sub>」に接続して下さい。



注 屋内電話機 2 台の場合、屋外電話機より呼出しを受けた場合同時に鳴動します。1 台と通話中にもう 1 台の屋内電話機の受話器を上げると 3 者通話となります。

(3.4) 増設装置を使用し屋外電話機を接続する場合

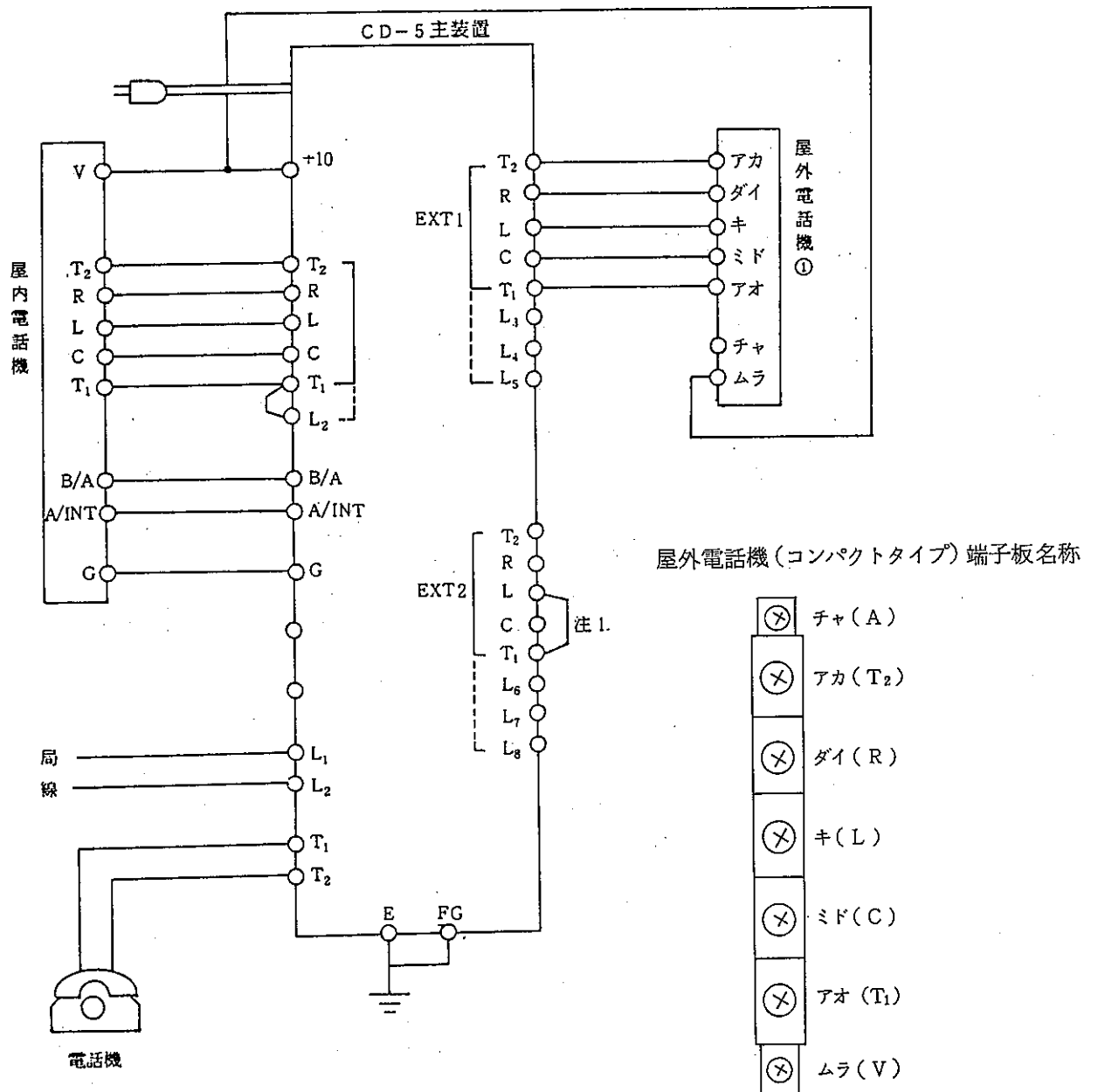
屋外電話機3台以上5台以下の場合は増設装置1台、5台以上の場合には増設装置2台を使用し接続して下さい。



- 注1. 増設装置の「電話機1～4」端子のうち、使用しない端子がある場合には、その端子の「T<sub>1</sub>↔L」間を短絡して下さい。
- 注2. 屋外電話機が2台以下の場合でも、表示器を接続する場合は増設装置を設置し、増設装置に表示器ケーブルを接続して下さい。

(4) 電話機の接続 **屋外用のみコンパクトタイプの場合**

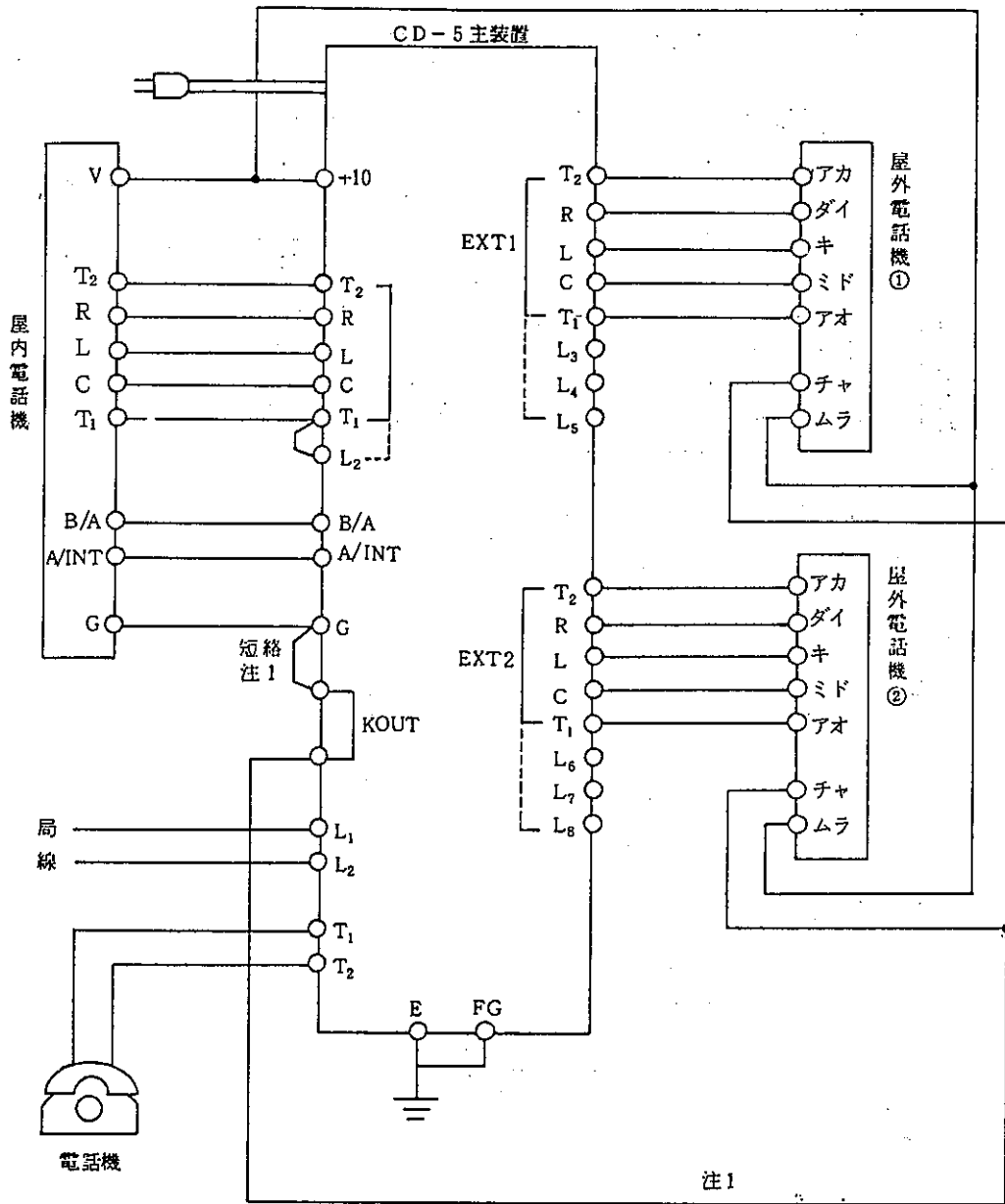
(4.1) 屋外電話機（コンパクトタイプ）1台，屋内電話機（標準タイプ）1台の場合



・ハウジングを外し，正面から見た図です。

注1. 接続しない屋外電話機端子がある場合，「L-T<sub>1</sub>」間を短絡して下さい。上図はEXT2に屋外電話機を接続しない場合を示していますが，EXT1に屋外電話機を接続しない場合も同様にEXT1の「L-T<sub>1</sub>」間を短絡して下さい。

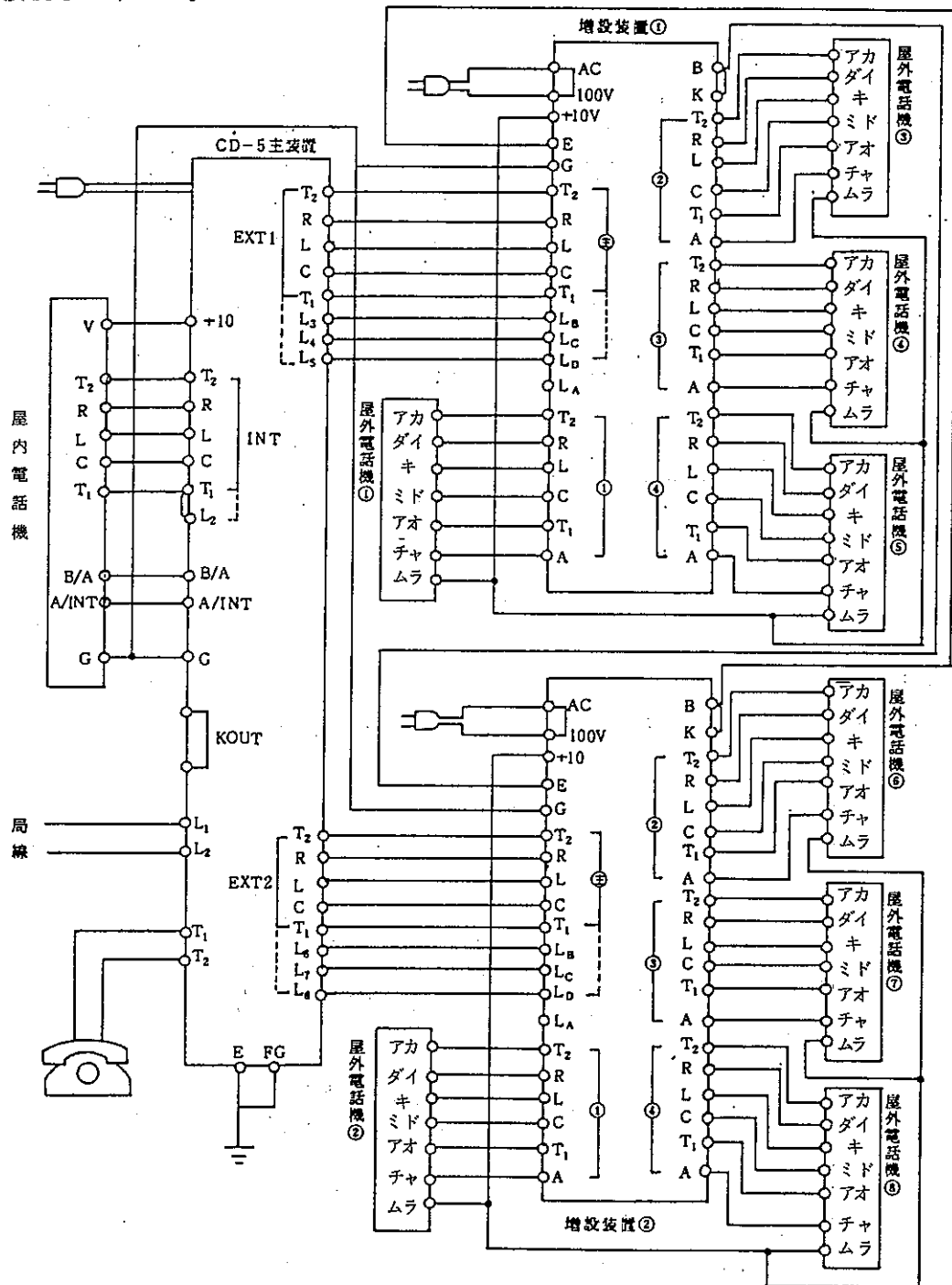
(4.2) 屋外電話機 (コンパクトタイプ) 2台, 屋内電話機 (標準タイプ) 1台の場合



注 1. 上図の様な配線を行なった場合には、屋外電話機の「使用中」ランプ表示が可能となりますが、「KOUT」を外部出力接点として使用不可となります。従って、「使用中」ランプ表示機能が無くても良い場合は、「G-KOUT」の短絡と「KOUT-A」の配線を行なわなくても結構です。前記配線を行なわなければ「KOUT」は、外部出力接点として使用可となります。

(4.3) 増設装置を使用し屋外電話機（コンパクトタイプ）を接続する場合

屋外電話機3台以上5台以下の場合には増設装置1台、5台以上の場合には増設装置2台を使用し接続して下さい。

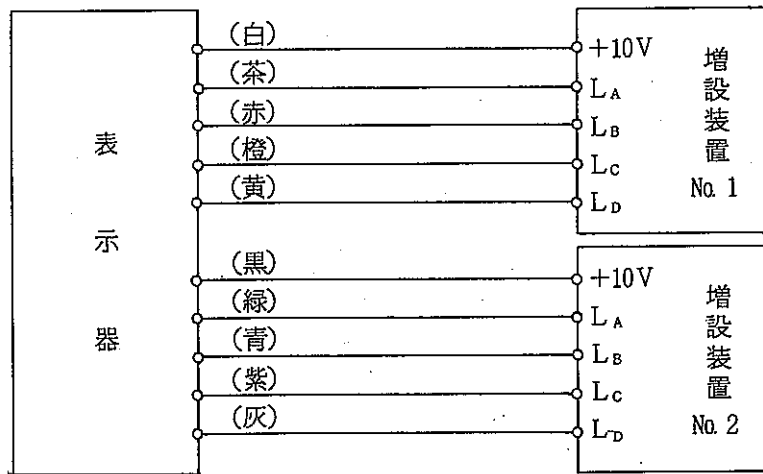


注1. 増設装置の「電話機1～4」端子のうち、使用しない端子がある場合には、その端子の「T<sub>1</sub> ↔ L」間を短絡して下さい。

注2. 屋外電話機が2台以下の場合でも、表示器を接続する場合は増設装置を設置し、増設装置に表示器ケーブルを接続して下さい。

(5) 表示器の接続

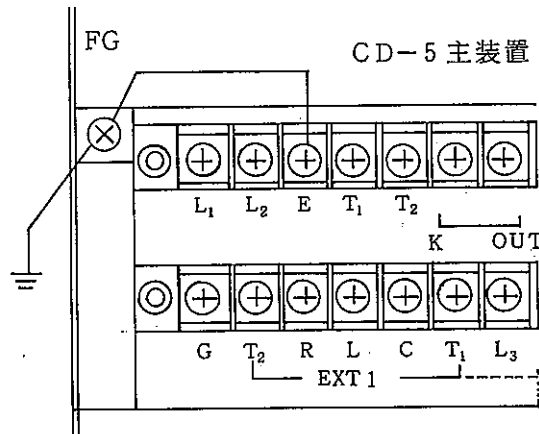
表示器の接続ケーブルを下図の如く増設装置に接続して下さい。



第 13 図

(6) 大地アースの接続

第 3 種接地（接地抵抗 100 Ω 以下）で大地アースを下図の如く取って下さい。

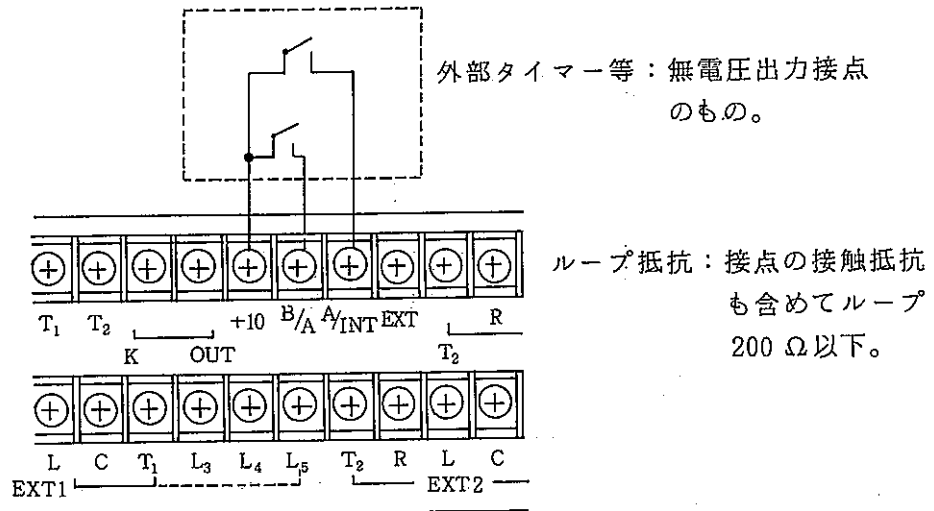


第 14 図

(7) タイマー接続

外部にタイマー等を設置し、呼出宛先を切替える場合、下図の如く+10-B/A又は+10-A/INT端子間を接続して下さい。

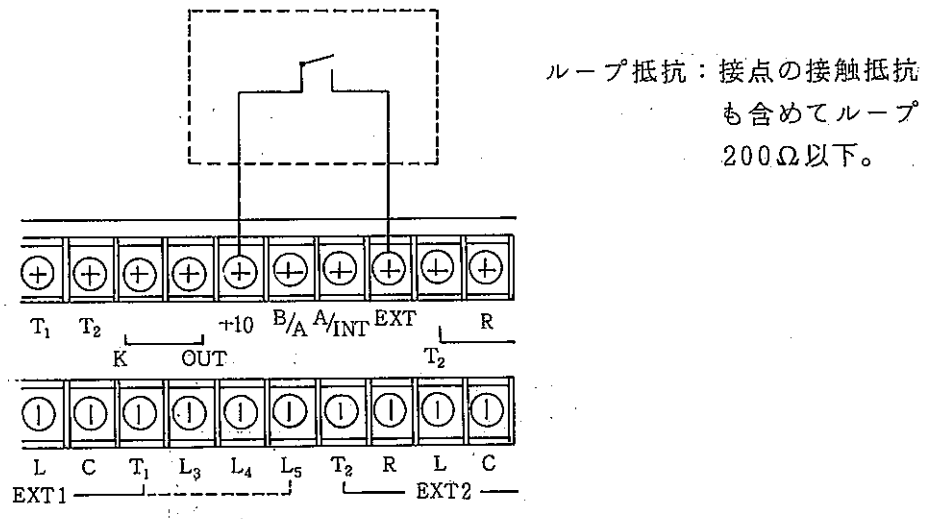
尚、本項の接続を行なった場合の呼出宛先は8項をご参照下さい。



第 15 図

(8) 他装置接点接続

同一電話回線内に他の装置を接続する場合には他の装置からの起動信号をEXT端子と+10端子間に接続して下さい。他装置からの起動信号は無電圧マーク接点のものを使用して下さい。



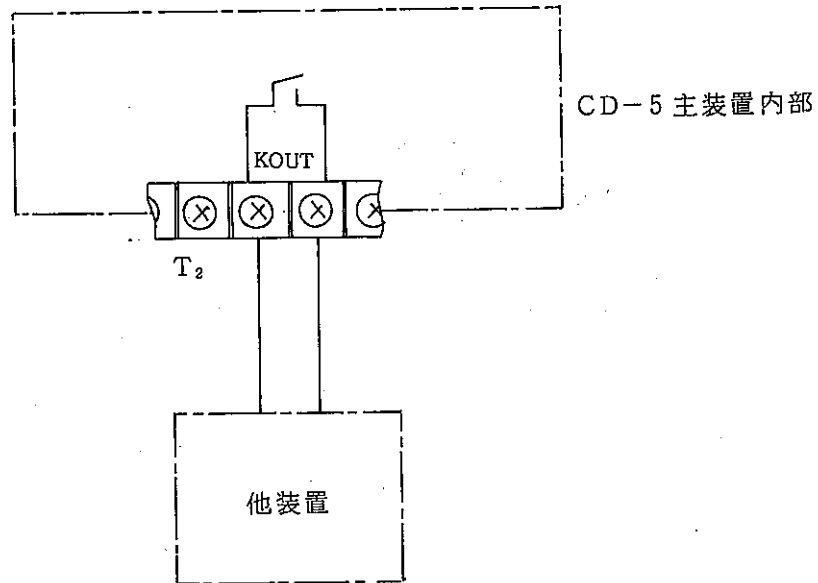
第 16 図

注 本項で接続された接点がマークすると、局線捕捉しての通報動作はできなくなる。

(9) 外部出力接点

CD-5 主装置には、装置が動作している間メークする無電圧出力接点を有しており、他の機器（ランプ、カメラ等）を連動することが出来ます。接続方法は下図の通りです。但し、主装置直結で屋外電話機の「使用中」ランプ表示を行なう場合は、本項の接続はできません。

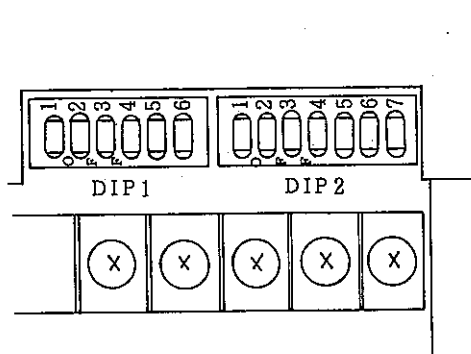
6.4(3)項参照。



第 17 図

7. 選択項目の設定

主装置内CD5-MBUユニット上のディップスイッチ（DIP1, DIP2）を切替えることにより第4表の機能設定を行って下さい。付図-2参照。



第 18 図

第 4 表

| DIPスイッチ<br>番 号 | 選 択 項 目           | ス イ ッ チ 状 態          |        |
|----------------|-------------------|----------------------|--------|
|                |                   | O N                  | O F F  |
| DIP1-1         | ダイヤル方式            | P B                  | D P    |
| 2              | ダイヤルスピード          | 20PPS                | 10PPS  |
| 3              | AグループへのIDコード送出方法  | P B信号                | 音 声    |
| 4              | BグループへのIDコード送出方法  | P B信号                | 音 声    |
| 5              | 接続局線種別            | P B X                | 一般回線   |
| 6              | 局線通話時の通話監視時間      | 無                    | 有(30分) |
| DIP2-1         | 自動切替タイマー          | DIP2-1 OFF ON OFF ON |        |
| 2              |                   | 2 OFF OFF ON ON      |        |
| 3              | A1, B1宛先呼出時間      | 60秒                  | 30秒    |
| 4              | 着信自動応答後復旧までの時間    | 180秒                 | 30秒    |
| 5              | 着信自動応答までの遅延時間(音声) | 30秒                  | 0秒     |
| 6              | IDコード送出回数(音声のみ)   | 2回                   | 1回     |
| 7              | 呼出相手先             | Aグループ                | インターホン |

## 8. 選択項目の説明

### (1) ダイヤル方式

接続する局線がDP回線か、PB回線かによってDIP1-1をOFFかONに設定して下さい。

### (2) ダイヤルスピード

接続する局線がDP回線の場合、10ppsか20ppsいずれかに設定して下さい。DIP1-1がOFFの時(DP回線)のみ、本設定が有効となります。

### (3) AグループへのIDコード送出方法 / BグループへのIDコード送出方法

通報先相手応答後、通話に先立ちIDコードを送出します。IDコードは、音声あるいはPB信号で送出することができます、DIP1-3又は4で設定して下さい。

| グループ  | スイッチ番号 | スイッチ状態 | IDコード送出内容                 |
|-------|--------|--------|---------------------------|
| Aグループ | DIP1-3 | OFF    | 「こちらは〇〇です」又は「こちらは〇〇〇の〇です」 |
|       |        | ON     | IDコードをPB信号で送出             |
| Bグループ | DIP1-4 | OFF    | 「こちらは〇〇です」又は「こちらは〇〇〇の〇です」 |
|       |        | ON     | IDコードをPB信号で送出             |

注 IDコードは、“\*”，“#”を含め16桁迄設定可。“\*”，“#”は音声時は「の」に相当する。

#### (4) 接続回線種別

ガイドホンCD-5が接続される回線の種別を設定して下さい。但しPBX内線に接続する場合はリバース機能が有るものに接続して下さい。又、本項でPBXに設定すると記憶してある電話番号の1桁目が「0」の時は、「0」ダイヤル後自動的にポーズをとります。

注 トランクアクセスコードが“0”以外の場合は、ポーズの設定および、本項の自動ポーズを入れることができません。

#### (5) 外線通話等の通話時間監視

外線通話時、屋外電話機の受話機はずし等による回線の無効捕捉を防止するための監視タイマーです。DIP1-6をOFFにすると、屋外電話機の外線通話時、29分経過すると受話器より警報音を送出します。警報音送出中に屋外電話機の呼出ボタンが押下されれば、その通話は30分間延長されます。呼出ボタンが押下されない場合は1分間警報音を送出した後、強制的に回線を開放します。

#### (6) 自動切替タイマー

インターホンモード時、一定時間屋内電話機を呼出しても応答しない場合、自動的にAグループ呼出しに切替えます。呼出時間は、切替無、10秒、15秒、20秒のうち1つを選択し設定します。尚、本項で切替無に設定した場合で、インターホンモードの時は、局線からの着信に自動応答がなくなるので注意して下さい。

#### (7) A<sub>1</sub>・B<sub>1</sub>呼出し時間

A又はBグループ呼出モードにおいて、第1宛先(A<sub>1</sub>、B<sub>1</sub>)呼出時間を30秒か60秒いずれかに設定します。本項で設定した時間は、前記(6)項の自動切替タイマーによるAグループ呼出しの場合にも適用されます。

#### (8) 着信自動応答後復旧までの時間

着信信号を検出すると自動応答し、IDコードを送出した後、屋外電話機はすべてスピーカ受話状態となります。この時、屋外電話機がオフフックされれば相互通話となり、オフフックされなければ、一定時間経過後自動復旧します。復旧時間は30秒、180秒いずれか1つを設定します。

#### (9) 着信自動応答までの遅延時間

着信信号検出から自動応答までの遅延時間をもたせることができます。遅延時間は、遅延時間無と30秒いずれかです。但し、インターホンモード時、屋外電話機と屋内電話機が通話中の場合は、通話終了後からの時間となる。

#### (10) IDコード送出回数

音声でIDコードを送出する場合、1回と2回とどちらかを選択することができます。但し、PB信号でIDコードを送出する場合はDIPスイッチの設定とは無関係に送出回数は1回の固定です。

#### (11) 呼出宛先

主装置の設定スイッチ又は屋内電話機のモード切替スイッチ操作による手動切替、及び外部に接続したタイマー等により呼出宛先を変更することができます。スイッチ切替による呼出宛先は次表の通りです。

A 屋内電話機のスイッチで呼出宛先を切替える場合

| 設定スイッチ | 屋内電話機スイッチ | DIPスイッチ<br>2-7 | 呼出宛先   |
|--------|-----------|----------------|--------|
| 昼      | インターホン    | OFF            | インターホン |
|        |           | ON             | Aグループ  |
|        | Aグループ     | ——             | Aグループ  |
|        | Bグループ     | ——             | Bグループ  |
| 夜      | ——        | ——             | Bグループ  |

——はどちら側に設定しても同じになる。

注 屋内電話機は最大2台迄設置できるが、屋内電話機のスイッチをそれぞれ別のモードに設定した場合は、Bグループ>Aグループ>インターホンの優先順位があるため、呼出宛先は優先順位の高いモードになります。

B タイマー接点で呼出宛先を自動的に切替える場合

B/A端子、A/INT端子と+10端子間にタイマーを接続して、自動切替えを行ないます。接続方法は後記タイマーの接続の項参照の事、呼出宛先は下表の通りです。

| 設定<br>スイッチ | B/A端子<br>+10端子間 | DIPスイッチ<br>2-7 | A/INT端子<br>+10端子間 | 呼出宛先   |
|------------|-----------------|----------------|-------------------|--------|
| 昼          | OPEN            | OFF            | OPEN              | インターホン |
|            |                 |                | SHORT             | Aグループ  |
|            | SHORT           | ON             | ——                | Aグループ  |
|            |                 | ——             | ——                | Bグループ  |
| 夜          | ——              | ——             | ——                | Bグループ  |

——はどちら側に設定しても同じになる。


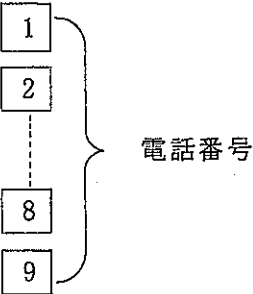


C 屋内電話機とタイマー接点で呼出宛先を切替える場合

| 設定<br>スイッチ | B/A端子<br>+10端子間 | DIPスイッチ<br>2-7 | A/INT端子<br>+10端子間 | 屋内電話機<br>スイッチ | 呼出宛先   |
|------------|-----------------|----------------|-------------------|---------------|--------|
| 昼          | OPEN            | OFF            | OPEN              | インターホン        | インターホン |
|            |                 |                |                   | Aグループ         | Aグループ  |
|            |                 |                |                   | Bグループ         | Bグループ  |
|            |                 | SHORT          | インターホン            | Aグループ         |        |
|            |                 |                | Aグループ             | Aグループ         |        |
|            |                 |                | Bグループ             | Bグループ         |        |
|            | ON              | ——             | インターホン            | Aグループ         |        |
|            |                 |                | Aグループ             | Aグループ         |        |
|            |                 |                | Bグループ             | Bグループ         |        |
| SHORT      | ——              | ——             | ——                | Bグループ         |        |
| 夜          | ——              | ——             | ——                | ——            | Bグループ  |

——はどちら側に設定しても同じになる。

## 9. ダイヤル番号の記憶方法・確認方法

呼出宛先はA<sub>1</sub>, A<sub>2</sub>, B<sub>1</sub>, B<sub>2</sub>の4宛先であるが、Aグループ呼出モードの場合はA<sub>1</sub>・A<sub>2</sub>の2宛先、Bグループ呼出モードの場合はB<sub>1</sub>・B<sub>2</sub>の2宛先となります。記憶・確認方法は下表による。

|                        | 操作<br>順序 | 設定スイッチ又は操作ボタン   | 記<br>事  |
|------------------------|----------|---|---|
| ダイヤル<br>番号<br>記憶<br>方法 | 1        | 記憶スイッチを「書込」側に倒す。  | 書込ランプ点灯   |
|                        | 2        |  ボタンを押す。   | A <sub>2</sub> に記憶する場合はA <sub>2</sub> を押す。                          |
|                        | 3        |            | 押下キーに対応する音声の主装置より聞えること。16桁まで設定可。                                    |
|                        | 4        |  ボタンを押す。  | A <sub>2</sub> に記憶する場合はA <sub>2</sub> を押す。                          |
|                        | 5        | 記憶スイッチを「切」に戻す。  |   |
| 確<br>認<br>方<br>法       | 1        | 記憶スイッチを「確認」側に倒す。  |   |
|                        | 2        |  ボタンを押す。 | A <sub>2</sub> を確認する場合は、A <sub>2</sub> を押す。<br>記憶した電話番号が主装置より聞えること。 |
|                        | 3        | 記憶スイッチを「切」に戻す。  |   |

注1. 記憶操作中、連続してA<sub>2</sub>～B<sub>2</sub>まで記憶する場合は、操作順序2～4までをくり返し設定して下さい。

## 10. IDコード番号の記憶方法・確認方法

### (1) 屋外電話機に個別IDコードを設定する場合

| 操作<br>順序 | 設定キー又は操作ボタン               | 記<br>事   |
|----------|---------------------------|--|
| 1        | 記憶スイッチを「書込」側に倒す           | 書込ランプ点灯  |
| 2        | ※ 0 A <sub>1</sub> ボタンを押す | 屋外電話機共通IDコード消去操作。記憶方法については(2)項参照。                                    |
| 3        | ※<br>1                    | 個別IDコード<br>※ 1 ~ ※ 8 (注1)  |
| 4        | 1<br>2<br>}<br>6<br>0     | IDコードの内容設定<br>押下したボタンに対応する音声の主装置より出る。<br>※ あるいは # を押した時は「の」という音声が出る。 |
| 5        | A <sub>1</sub> ボタンを押す     |  |
| 6        | 記憶スイッチを「切」側に戻す。           |  |

注1. 個別IDコードは※1～※8まで設定可。従って増設装置を接続して屋外電話機8台設置しても、個々にIDコード設定可。増設装置を使用しない場合は、主装置「EXT1」は※1、「EXT2」は※2が対応し、増設装置を使用した場合は下表の通りとなります。

| 主装置EXT1に接続された増設装置の端子No. | IDコード | 主装置EXT2に接続された増設装置の端子No. | IDコード |
|-------------------------|-------|-------------------------|-------|
| No. 1                   | ※ 1   | No. 1                   | ※ 2   |
| 2                       | ※ 3   | 2                       | ※ 6   |
| 3                       | ※ 4   | 3                       | ※ 7   |
| 4                       | ※ 5   | 4                       | ※ 8   |

(2) 屋外電話機が全て共通IDコードの場合

| 操作<br>順序 | 設定キー又は操作ボタン   | 記<br>事   |
|----------|---|--|
| 1        | 記憶スイッチを「書込」側に倒す   | 書込ランプ点灯  |
| 2        | <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">*</div><br><div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">0</div>  | ] 電話機共通IDコード   |
| 3        | <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">4</div><br><div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">6</div><br>}<br><div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">1</div><br><div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">1</div> | ] 共通IDコード内容。<br>押下したボタンに対応する音声<br>が主装置より聞えること。<br>16桁迄設定可。 |
| 4        | <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">A<sub>1</sub></div> ボタンを押す   |  |
| 5        | 記憶スイッチを「切」に戻す   |  |

注1. 屋外電話機に個別IDコードが有る場合は、本項の共通IDコードは登録しないで下さい。  
共通IDコードを登録すると個別IDコード（\*1～\*8）は出なくなり、共通IDコードが送出されます。

注2. 共通IDコードの消去方法は下記する通りです。

① 記憶スイッチ「書込」側に倒す。

② 

\*

0

 ボタン押す。

③ 

A<sub>1</sub>

 ボタン押す。

④ 記憶スイッチ「切」に戻す。

(3) 着信自動応答時のIDコードを記憶する場合

| 記憶方法 | 操作順序          | 設定キー又は操作ボタン   | 記 事             |
|------|---------------|---|-----------------|
|      | 1             | 記憶スイッチを「書込」側に倒す   | 書込ランプ点灯         |
|      | 2             | <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">*</div><br><div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">9</div>  | } 着信自動応答時のIDコード |
|      | 3             | <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">4</div><br><div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">6</div><br>↓<br><div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">5</div><br><div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">1</div> |                 |
|      | 4             | <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">A<sub>1</sub></div> ボタンを押す   |                 |
| 5    | 記憶スイッチを「切」に戻す |   |                 |

(4) IDコードの確認方法

| 記憶方法 | 操作順序 | 設定キー又は操作ボタン  | 記 事  |
|------|------|--|--|
|      | 1    | 記憶スイッチを「確認」側に倒す  | } 確認したいIDコードボタンを押す。<br><div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">*</div> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">0</div> ~ <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">*</div> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">9</div><br>設定したIDコードの内容が主装置より聞えること。(注1) |
|      | 2    | <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">*</div><br><div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">0</div> |  |
|      | 4    | 記憶スイッチを「切」側に戻す   |  |

注1. IDコード送出がPB信号送出に設定しても、確認時は音声で送出され“\*”も“#”も「の」で送出されます。但し、連絡動作時は“\*”，“#”に対応するPB信号が送出されず。

## 11. 点 検

AC 100V プラグをコンセントに差し込む前に、下記の項目を確認して下さい。

- ① 局線，屋外電話機，屋内電話機等の配線は正しく確実に接続されているか。
- ② 主装置，電話機内に線クズ等が入っていないか。
- ③ ディップスイッチの設定は正しく確実に設定されているか。

以上，終わったらAC 100V プラグをコンセントに差し込み，下表の手順に従い動作点検を行なって下さい。

(注) 表中HSはハンドセットの略

| No | 点検項目            | 操 作 手 順   | 確 認 事 項   | 記 事                                  |
|----|-----------------|---|---|--------------------------------------|
| 1. | インターホン<br>通報動作  | (1)屋外電話機のHSを上<br>げる。<br><br>(2)屋外電話機の呼出ボタ<br>ンを押す。<br><br>(3)屋内電話機のHSを上<br>げる。<br><br>(4)屋内，屋外電話機の<br>HSをおろす。<br><br>(5)屋内電話機のHSを上<br>げ呼出ボタンを押す。<br><br>(6)屋内電話機より屋外電<br>話機を音声で呼出す。<br><br>(7)屋外電話機のHSを上<br>げる。 | (1)屋外電話機のHSより「ご<br>使用になっている電話機<br>の呼出ボタンを押して下<br>さい」というメッセージ<br>が聞こえること。<br><br>(2)屋外電話機のHSより呼<br>出音（リングバックト<br>ーン）が聞こえること。又，<br>屋内電話機で着信音が鳴<br>動すること。<br><br>(3)屋内電話機と正常に通話<br>ができること。<br><br>(5)屋内電話機のHSより「プ<br>ップ」 という発信音が<br>聞こえること。<br><br>(6)屋外電話機のスピーカよ<br>り呼出音声聞こえること。<br><br>(7)屋外電話機と正常に通話<br>ができること。 | 屋内電話機等により<br>インターホンモード<br>に設定        |
| 2. | A，B 宛 先<br>通報動作 | (1)記憶スイッチを「確認」<br>側に倒す。   |   | 屋内電話機等でA，<br>Bグループいずれか<br>のモードに設定する。 |

| No. | 点検項目     | 操作手順   | 確認事項   | 記 事   |
|-----|----------|--|--|---|
|     |          | (2)屋外電話機のHSを上げる。   | (2)屋外電話機のHSより「ご使用になっている電話機の呼出ボタンを押して下さい」というメッセージが聞えること。  |   |
|     |          | (3)屋外電話機の呼出ボタンを押す。                                       | (3)屋外電話機のHSより「只今、連絡しております。受話機を持ったまましばらくお待ち下さい」というメッセージが聞えること。  |   |
|     |          | (4)HSを上げたまま待機  | (4)設定した宛先を呼出ずこと。   |   |
|     |          | (5)連絡先の電話機のHSを上げずに待機する。                                  | (5)20秒間呼出し、15秒後にA <sub>2</sub> 、B <sub>2</sub> の連絡先の呼出動作に移り、連絡先(A <sub>2</sub> 、B <sub>2</sub> )を呼出すこと。<br>(注)記憶スイッチが「確認」側の場合は、A <sub>2</sub> B <sub>2</sub> 宛先も20秒間呼出して、不応答の時は動作復旧する。 | 記憶スイッチが「切」側の場合、A <sub>1</sub> 、B <sub>1</sub> 宛先の呼出時間は30秒又は60秒いずれか設定可能であるが、A <sub>2</sub> 、B <sub>2</sub> 宛先は、60秒固定である。 |
|     |          | (6)連絡先の電話機のHSを上げる。                                       | (6)連絡先の電話機のHSよりIDコードが聞えること。この時、屋外電話機のHSからは呼出音(リングバックトーン)が聞こえること。IDコード送出終了後は正常に通話ができること。  | IDコード送出方法がPB設定の場合、PB信号で聞える。   |
| 3.  | 通話時間監視動作 | (7)前記(6)項の状態で待機する。<br><br>(8)屋外電話機のHSをおろし、記憶スイッチを「切」に戻す。 | (7)40秒後、屋外電話機のHSより警報音が60秒間聞えること。その後、回線を開放し、動作復旧すること。   | 通話時間監視を行っていない場合、警報音は送出されない。又、監視動作も行わない。   |

| No. | 点検項目     | 操作手順  | 確認事項   | 記事  |
|-----|----------|---|--|---|
| 4.  | 自動切替動作   | (1)屋外電話機のHSを上げ、呼出ボタンを押して待機する。   | (1)屋内電話機で応答しないと一定時間(10秒, 15秒, 20秒いずれか)経過後, Aグループ呼出動作に切替わること。<br>(注)自動切替タイマーが「切替なし」の設定の場合, 本項動作は行なわない。  | 屋内電話機等によりインターホンモードに設定しておく。  |
| 5.  | 着信自動応答動作 | (1)他の回線より, 主装置が接続された電話番号をダイヤルし, 主装置を呼出す。<br><br>(2)発信者はIDコードと「ピー」という発信音を聞いた後, 屋外電話機を音声で呼出す。<br><br>(3)屋外電話機のHSを上げる。<br><br>(4)屋外電話機のHSをおろす。 | (1)主装置が自動応答し, 発信者にIDコードが送出されること。<br>(注)自動応答までの時間はDIPスイッチ2-5の設定による。<br>(2)屋外電話機はすべて, スピーカ受話状態になり, 発信者の音声が入ること。<br>(3)屋外電話機と正常に通話ができること。<br>(4)動作復旧すること。 | 屋内電話機等により, A又はBグループモードに設定しておく。<br><br>屋外電話機のHSを上げないと設定した時間(30秒か180秒)になると復旧。 |

## 12. 電池の交換

ガイドホンCD-5には、停電、故意の電源断に備えるための充電電池が実装されており、電池の寿命、品種、取替え方法は次の通りです。

### <充電電池について>

- 完全充電に要する時間は約100時間です。従って主装置の電源プラグはコンセントから抜かないで下さい。
- 電池は充分充電された状態で、10時間の停電に耐える容量を持っています。電池の寿命は2～3年ですが停電時の動作を確実にするため、2年毎に交換して下さい。

電池定格

14.4V (1.2V×12本) 450mAH

### <交換方法>

- ① 主装置の側面にある4本の取付ビスをゆるめ、カバーを上持ち上げるようにして外して下さい。
  - ② 右下の電池スイッチを切して下さい。(電源スイッチは入れたまま)
  - ③ 電池を引出し、コネクタを外して電池を交換して下さい。
  - ④ コネクタをもと通りはめ込み、リード線引き出し部を左側にし、電池でリード線をはさまぬ様に注意しながら挿入して下さい。
  - ⑤ 電源スイッチを再投入して下さい。
  - ⑥ 前カバーをもと通りにはめ込み、ビスを締めて下さい。
- 電池を交換した時は、必ず記憶してある電話番号とIDコードを確認して下さい。

